平成29年度

特別活動全体計画

中10　練馬区立練馬中学校

学校の教育目標	日本国憲法・教育基本法の理念を基礎として国際社会への連帯意識を日本国民としての自覚をもち、21世紀をたくましく生き抜く人間性豊かな生徒の育成を目指す。　「不惜精進～自主・勤勉・共生～」
特別活動の目標	①生徒の自主性および実践的態度を育て、自他共によい点を発見し認め合い、よりよい人間関係の中で協力し合いながら、学校や学級の生活上の諸課題を主体的に解決していく能力を培う。 ②学級活動、各種委員会活動、係活動等を責任をもって成し遂げる自己管理能力を育てる。 ③生徒会活動や各行事、宿泊行事では、生徒の自主性を促し集団活動の重要さを理解させるとともに、集団の一員としての役割をしっかりと果たさせ、人間関係の確立、公共の精神の向上、社会性の育成を図る。
目指す子供像	○自律した行動をとり、よりよい人間関係を築くことができる生徒。 ○他者や社会との関わりの中で生活・活動することを意識し、自らの生き方について考えながら、適切な行動がとれる生徒。 ○様々な課題に、周囲と力を合わせながら、適切に対応できる意欲・態度をもつ生徒。

	学級活動	生徒会活動	学校行事
目標	○望ましい人間関係を形成し，集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し，諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	○望ましい人間関係を形成し，集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し，協力して諸問題を解決しようとする自主的，実践的な態度を育てる。	○望ましい人間関係を形成し，集団への所属感や連帯感を深め，公共の精神を養い，協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的，実践的な態度を育てる。
指導の方針	○学級活動の諸活動（班活動、係活動、学活等）を通して、学級内の望ましい人間関係を意図的、計画的に形成する。 ○学級内の諸活動、生徒個々に任された仕事などを、責任をもってやり遂げる態度を育てる。 ○学校・学級の諸課題を生徒が自分たちのものとして受けとめ、適切な課題解決の方法を見い出し行動できるようにする。	○生徒会活動（生徒会本部の取組、専門委員会活動等）を通して、生徒一人一人に学校の一員としての自覚を高めさせ、よりよい学校づくりに協力して参加しようとする態度を育てる。 ○生徒会活動等を通して、生徒に様々な体験的活動に取り組ませ、社会の中の一員としての自覚をもたせるとともに、場所・状況に応じた行動がとれるようにする。 ○生徒会本部役員、専門委員会委員長等に生徒のリーダーとしての自覚をもたせ、学校の諸課題を主体的に解決しようとする実践的態度を育てる。	○学校行事を通して、学級・学年を超えての望ましい人間関係を形成し、各生徒の集団への所属感や連帯感を高める。 ○学校行事を通して、周囲と力を合わせながら協調性をもって諸活動に取り組む態度を育てる。
主な指導内容	(1) 学級や学校の生活づくり （学級や学校における生活上の諸問題の解決、学級内の組織づくりや仕事の分担処理、学校における多様な集団の生活の向上） (2) 適応と成長および健康安全 （思春期の不安や悩みとその解決、社会の一員としての自覚と責任、男女相互の理解と協力、望ましい人間関係の確立、ボランティア活動の意義の理解と参加、心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成、性的な発達への対応、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成） (3) 学業と進路 （学ぶことと働くことの意義の理解、自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用やインターネットの利用、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計）	(1) 生徒会の計画や運営 生徒総会、生徒会本部役員会、生徒会朝礼、生徒会役員選挙、生徒会新聞の発行、地域行事等の紹介 (2) 異年齢集団による交流 新入生オリエンテーション、小学校への学校紹介、新入生体験入部 (3) 生徒の諸活動についての連絡調整 各種委員会による活動 (4) 学校行事への協力 運動会、合唱コンクール、舞台発表会への協力 (5) ボランティア活動などの社会参加 募金活動などによる国際貢献	(1) 儀式的行事：入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、開校記念に関する儀式、離任式 (2) 文化的行事：舞台発表会、合唱コンクール、音楽鑑賞教室、講演会、健康安全や学校給食に関する意識や実践意欲を高める行事 (3) 健康安全・体育的行事：健康診断、薬物乱用防止教室、防犯教室、交通安全指導、避難訓練、防災訓練、運動会、球技大会 (4) 旅行・集団宿泊的行事：遠足、修学旅行、集団宿泊（スキー教室、臨海学校）、野外活動 (5) 勤労生産・奉仕的行事：職場体験，クリーン運動、上級学校や職場の訪問・見学、全校美化活動、地域社会への協力や校内外ボランティア活動
家庭や地域との連携	○学級活動への地域関係者の協力・支援 ○日本赤十字社等との連携 ○関係福祉団体との連携 ○高等学校等との連携 ○小学校との連携	○生徒会活動への、地域関係者の協力・支援 ○地域ボランティア活動への生徒会組織としての協力・参加 ○日本赤十字社等との連携 ○関係福祉団体との連携	○学校行事への、地域関係者の協力・支援 ○地域ボランティア活動への生徒の協力・参加 ○青少年委員、青少年育成第四地区員会との連携 ○日本赤十字社等との連携 ○関係福祉団体との連携
評価の観点	○学級活動における話し合いや言語等による表現、発表ができるか。 ○集団としての責任や協調性、規律ある生活態度をとれるか。	○委員会活動における話し合いや言語等による表現、発表ができるか。 ○自治活動による問題発見能力と課題解決力が身に付くか。	○作品等の鑑賞による感受性の育成。 ○行事の運営等に参加することで集団への所属感を感じ、協調性をもてるか。